

防災

つくば特別支援学校



令和5年1月20日発行
第2号

だより

災害時の避難場所について考えましょう

家庭によって住んでいる地域やライフスタイルは様々であるため、災害に対する必要な備えも違います。備える内容は違っていても、災害時の対応を相談することは誰にとっても大切なことです。今回は災害時の避難場所について考えていきましょう。



どこに避難しますか？

災害が発生した場合の避難先として、いくつかの選択肢が考えられます。

①市町村が指定した避難場所への避難



②安全な場所にある親戚、知人宅への避難
(避難することを日ごろから相談する)



③安全な宿泊施設(宿泊料が必要)



④自宅に留まる
(自宅が安全だと判断できる場合)



自宅に留まる場合は、**自宅が安全かどうか確認**しましょう。

- ・自宅や近隣がハザードマップに該当していないか
- ・自宅の損壊はどうか(ひび割れやゆがみなど)
- ・余震がきても危険がないか
- ・避難勧告や避難指示が発令されていないか 等

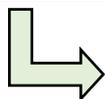


避難場所について情報を集めましょう

①各市町村のホームページ等に掲載されている、指定緊急避難所や指定避難場所を確認してみましょう。

※指定避難所……………避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設

※指定緊急避難場所…津波、洪水等による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する施設又は場所



国土地理院のホームページでは全国の指定緊急避難場所を検索することができます。

国土地理院 指定緊急避難場所



②避難先を考えるときには、ハザードマップも参考にしましょう。

ハザードマップポータルサイトで確認することができます。

ハザードマップポータルサイト



住んでいる市町村のハザードマップや避難所、防災の取り組み等を

確認しておきましょう。

